

未来技術等を活用した心が通う持続可能なまちづくり
人と企業と教育機関の交差点
赤れんがから広がるSDGs



▲日新電機と連携したエコ発電体験教室



▲京都府立大「まいづる赤れんがオフィス」オープニングセレモニーでの塚本学長と多々見市長



▲イルミネーション「舞鶴ヒカリのたね 2021」



▲舞鶴高専杯プログラミングコンテスト



▲赤れんが3号棟2階にあるワーキングスペース

舞鶴の未来を切り拓くプログラミング

情報通信技術 (IT) や人工知能 (AI) が、医療、土木、農業、漁業などのさまざまな分野で活用され、最新技術に対応できる人材育成が期待されています。その一環として、小・中学校では、プログラミングの授業が始まり、私たちも近隣の小・中学校で出前授業をさせていただく機会も増えてきました。出前授業を受講した小・中学生は、プログラミングに慣れてくると、試行錯誤しながらも自分自身で工夫をしたり、課題を解決したりする能力を得ていきます。この能力を開花させるために、産官学が連携し、舞鶴高専杯プログラミングコンテストを開催しました。ワーキングスペースで実施しましたが、小・中学生の能力を生かしたアイデアやゲームを見聞きし、参加者と来場者の熱い拍手で包まれていたのがとても印象的でした。市と企業が連携して、AI、IoT (ものがインターネットにつながって通信する技術) などの体験型の授業を通して、最新技術に対応できる人材育成をしていきたいと考えています。



舞鶴高専
電気情報工学科 准教授
井上 泰仁さん

DGsの取り組みは、今年度からは、市内各地へと広がっています。ホテルベルマール北側の「潮路通り」並木では、ホテルベルマールと舞鶴高専の学生が連携してイルミネーション「舞鶴ヒカリのたね2021」を実施。学生がコロナ禍のまちに活気を取り戻したいという思いで企画とデザインを担当し、幻想的な雰囲気を楽しめます。

また、市内7小学校、4中学校、全高校で舞鶴市SDGs未来都市の取り組みについての出前授業を実施。これをきっかけに子ども達が自ら考えるSDGsのアイデアを発表。中筋小学校では「魚のまち・舞鶴」でシイラが水揚げされるのに料理される機会が少ない

ことに着目し、子ども達が調理に挑戦し、レシピを考え、実際に給食に活用する提案をしました。

さらには、昨年10月にワーキングスペース内に京都府立大学「まいづる赤れんがオフィス」が開設。多様な連携の拠点の一つ増え、遠隔授業に加えて市内の高校との交流やまなびあむとの事業展開が期待されています。

市では、今後も多様な連携を生かし、赤れんがワーキングスペースを中心に市内全域をフィールドとして舞鶴版SDGs未来都市の取り組みを広げていきます。

※24ページ関連記事

企業、教育機関との連携

市では、この場所を次代を担う子ども

赤れんがワーキングスペース
平成31年4月、赤れんが3号棟2階に民間企業(株)J&J事業創造)と協働で開設したワーキングスペース。市ではここを舞鶴市SDGs未来都市の発信拠点に位置付け、国が指定する重要文化財である赤れんがの建物の中にデザイン家具を設置し、日常とは異なる空間と雰囲気の中で仕事や打ち合わせなどができる場所としています。市民はもちろん、テレワークなど市外の就業者や学生など誰もが自由に利用でき、さまざまな交流から舞鶴の若者が夢を抱けるような「地域活性化フィールド」として試行しています。また、ここを拠点として、子どもの頃からITやものづくりに興味を持てるよう、地元企業や全国の事業者と協力を得て、体験教室や小・中学校での特色ある授業を行う取り組みが続いています。

多様な連携やSDGsの今後

このようなワーキングスペースを中心とした多様な連携から生まれたS

達の教育・体験の場として活用し、ものづくりをはじめ幅広い分野の仕事に若いうちから触れることで、将来就きたい仕事、学びたいことの選択肢を広げたり、ものづくりの楽しさに気付くきっかけを作るなど、企業や高等教育機関など多様な主体と連携しています。

これまで、京都大学舞鶴水産実験所と連携した「おさかな教室」や日立造船(株)舞鶴工場と連携した「電気工作教室」、日新電機(株)と連携した「エコ発電体験教室」などを開催。また、小・中学校のプログラミング教育が必修になったことを踏まえ、舞鶴高専が市と共催で「舞鶴高専杯プログラミングコンテスト」を初めて実施。参加した小・中学生はプログラミング技術や自ら考えたSDGsのアイデアを競い合い、会場は発表が終わるたびに大きな拍手が起り、熱気に包まれました。

第7次舞鶴市総合計画に基づき、まちづくりの方向性や市の取り組み施策・事業をお伝えする「市政の今」。今回は「人と企業と教育機関の交差点 赤れんがのワーキングスペースから広がるSDGs」についてお伝えします。



SDGs未来都市